

あて
文章を正確に読み取ろう

次は「地域を活性化するための方法」についての話し合いの一部です。これを読んで、あとの各問いに答えなさい。

司会：これから話し合いを始めます。テーマは「地域を活性化するための方法について考える」です。提案をもとに、クラスで具体的な方法を考え、町で募集している「地域活性化計画案」として提出したいと思います。それでは、田中さん、提案をお願いします。

田中：はい。先日、祖父と朝日市へ行ききました。朝日市はそばが有名で、行列のできている店がいくつもありました。店員さんの話では、そばを食へに来る観光客が増えていそうです。また、テレビなどで、ご当地グルメの特集もよく放送されます。そこで、町の活性化には、食へ物で人を集めるのがよいと考えます。具体的には、町の特産品のトマトを使ったメニューを開発するのはどうでしょうか。

司会：ここまでのところで、田中さんの提案に質問や意見はありますか。はい、山田さん。

山田：特産品をとりあげるならば、食品開発よりもキャラクターを作るほうがよいと思います。メニューの開発は、中学生には難しいと思います。

司会：田中さんのメニューを開発する、と山田さんのキャラクターを作るという二つの意見が出ていますが、佐藤さん、二人の意見を聞いてどうですか。

佐藤：はい。田中さんの意見は分かりやすかったので、山田さんも田中さんのように、
[]を説明してくれませんか。

司会：山田さん、お願いします。

山田：ぼくたちの町には、美術関係の学校が多く、ぬいぐるみを製造する工場もあります。また、日本全国に地方の特産物をイメージしたキャラクターも増え話題になっているので、みんながアイデアを出し合いやすいと思います。食品開発は、栄養価や衛生面、調理方法など、考えることも多く、中学生が取り組むには手間や時間がかかりすぎると思い、難しいと感じました。

司会：佐藤さん、二人の意見を聞いて、これらを生かしたよりよい案は何かありませんか。

佐藤：はい。山田さんの理由も分かりました。そこで修正案があります。同じ商品を繰り返し買つことはなく、キャラクターグッズだけでは、一時的なことで終わる心配もあります。田中さんの提案も取り入れて、トマトのキャラクターが、トマトを使ったメニューをイベントなどで宣伝するというのはいかがでしょうか。メニューの開発については、家庭科の先生や、商店街の知り合いのかたに相談してみるなど、いくつかの解決策があると思います。

司会：意見を整理すると、特産品のトマトを使ったメニューとキャラクターの両面から考えるということですね。では具体的に……。

一この話し合いにおける司会の進行についての説明として最も適切なものを次のアからエの中から一つ選び、その記号を書け。

- ア 多数決をとり、話し合いの内容に合わない案をそのつど却下している。
- イ 多数決をとり、二つの意見を生かした新たな案を出させている。
- ウ 多数決をとらず、二つの意見を生かしたよりよい案を出させている。
- エ 多数決をとらず、司会者としての案を新たに取り入れながら進めている。

二佐藤さんは、[]でどのような発言をするのがふさわしいか。[]にあてはまる言葉を十五字以内で書け。

はい。田中さんの意見は分かりやすかったので、山田さんも田中さんのように[]を説明してくれませんか。

振り返り	一	
	二	